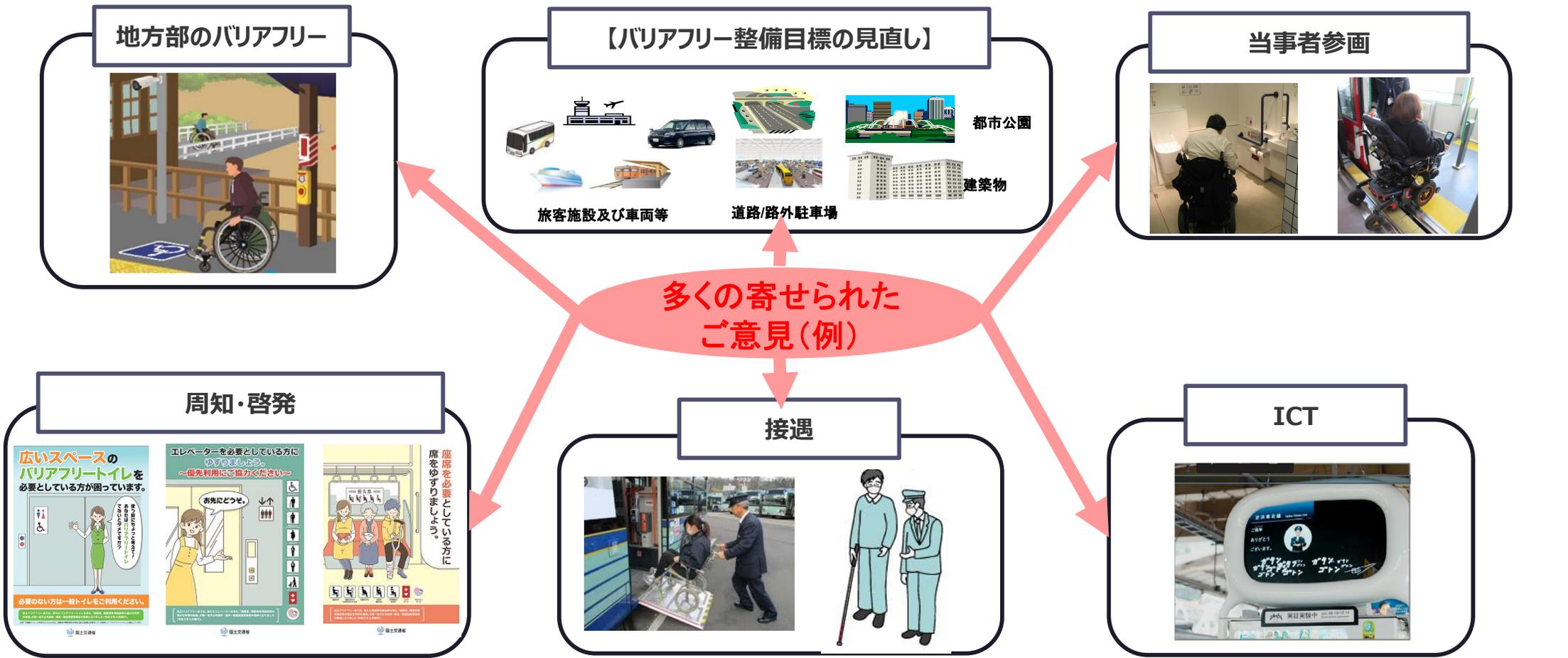


# 主要課題の検討について(案)

---

- これまで当事者や有識者から幅広い観点から多岐にわたる意見を頂いているところ。
- これらの中には、**横断的な議論や施策のあり方・考え方の整理の議論が必要であり、検討に一定の期間を要するものが存在。**このため、**特に主要課題（詳細次項）と考えられる事項については、以下の観点から別途検討の場を設けることが必要**と思慮。
  - －主要な検討事項について**集中的かつ継続的に議論を深めること**
  - －当事者、事業者、有識者の各々の**意見表明のための時間を十分に確保**すること
  - －必ずしもあり方検討会の構成員に限らず、**自治体を含め多様な取組主体や有識者から現状・課題認識を共有**頂きつつ、**オープンに意見交換を行う場を確保**すること



- これまで当事者や有識者から頂いた意見のうち、( i )現在の社会経済情勢の変化に対応が必要なもの、( ii )整備目標の進捗が芳しくないもの、( iii )当事者からのニーズが高いもの（数多くの意見を頂いたもの）に着目し、主要課題・論点を抽出。
- これらのうち、内容に親和性があり併せて検討することが望ましいものについては同一の課題として分類。
- これらの抽出・分類の結果、以下のとおり、3つの主要課題を整理するとともに、各課題について主な論点（案）を整理。

## 主要課題と主な論点（案）について

### バリアフリー法及び関連 施策のあり方に関する 検討会

#### 主要課題①： 地域特性を踏まえたバリアフリーまちづくりのあり方

- ✓ 地方部のバリアフリーを一層推進するためにはどのように取り組むべきか
- ✓ 各地域分科会の活用等も含め、各地域の特性を踏まえた基本構想・マスタープランの作成をどのように促進していくか
- ✓ 地方公共団体における都市・交通等の計画と連携した効果的なバリアフリーまちづくりの促進についてどう考えるか
- ✓ 整備目標のあり方についてどう考えるか

#### 主要課題②： 心のバリアフリー・目に見えない障害への対応の更なる推進のあり方

- ✓ 「心のバリアフリー」、「障害の社会モデル」の理解促進及び高齢者・障害者等への適正な配慮や必要な協力を推進するためにはどのように取り組むべきか
- ✓ 交通結節点の移動の連続性に配慮した、乗り継ぎ時における旅客支援等を推進するためにはどのように取り組むべきか
- ✓ 目に見えない障害特性（知的・発達・精神障害等）の理解促進、適切な移動支援の提供のあり方についてどう考えるか
- ✓ ソフト面（理解度・接遇水準等）に関連する整備目標のあり方についてどう考えるか

#### 主要課題③： バリアフリー分野のICT活用・当事者参画の更なる推進のあり方

- ✓ バリアフリー分野のICT利活用（情報提供・誘導案内に係るもの等を想定）の促進に向けた施策のあり方や、人的支援との役割分担・組み合わせのあり方についてどう考えるか
- ✓ 当事者参画のより一層の推進や、当事者目線のガイドラインの整備を進めるためにはどのように取り組むべきか

- 意見交換を円滑かつ効果的に進めるため、①障害当事者、②自治体及び事業者、③有識者の3者より個別にご意見等を伺うこととしてはどうか。
- 具体の検討会の開催方法や回数・時期等は、参加者のご意向や検討状況を踏まえつつ決定することを想定。
- ※ 主要課題の検討状況については、第13回あり方検討会に報告予定。

キックオフ、主要課題・論点の提示、議論の進め方の合意形成等

第12回  
5月30日

## 主要課題の検討の流れ（案）

（例）主要課題①：地域特性を踏まえたバリアフリーまちづくりのあり方

### パート①（当事者パート）

当事者より、問題意識をはじめ、大きな視点からご意見をお伺いし、実態把握やアプローチする課題の優先順位付けの参考とさせていただくもの

### パート②（自治体・事業者パート）

※基本構想を策定している自治体等を想定

先進的な取組を実施している自治体・事業者より、取り組み内容・施策効果・課題や、バリアフリー各種制度に関する要望等をお伺いし、具体施策の検討の参考とさせていただくもの

### パート③（有識者パート）

有識者より、これまでの関連施策への評価、課題認識、今後5～10年を見据えた政策提言等をお伺いし、具体施策の検討の参考とさせていただくもの

主要課題、整備目標に係る検討状況の報告

第13回  
10月頃

継続開催